

高知市においてハクセキレイが繁殖した一例の観察記録 (スズメ目:セキレイ科)

田中正晴

A case of the White Wagtail *Motacilla alba* breeding in Kochi city

TANAKA Masaharu

Key Words: White Wagtail, breeding, Kochi city

亜種ハクセキレイ *Motacilla alba lugens* は冬鳥として高知県に渡来し、平野部の河川や耕作地などに多く生息する。けれども大部分の個体が3月下旬には飛去してしまうため、高知県での繁殖は確認されていなかった(高知県, 1986, 1995.)。しかし筆者は2004年7月に高知市高須でハクセキレイの親子と給餌を観察し、高知県初の繁殖例として報告した(田中, 2005)。今回は高知県では初めてハクセキレイの巣を発見し、給餌・巣立ちを観察した。

観察には7倍の双眼鏡を使用し、必要に応じて25倍の望遠鏡を使用した。給餌中のハクセキレイへの刺激を避けるために観察は車中から行った。

観察地は高知県高知市介良丙、南東から北西にのびる片側1車線の道路の東側にある農業倉庫である。周りは水田がひろがり、西側には高知市東部総合運動場がある。

2007年6月10日ハクセキレイ1羽を高知市介良丙の道路わきで観察した。翌11日、そこから約200mの所にある農業倉庫の軒下に巣を発見した(図1)。発見した時には巣にはヒナが1羽いたが、大きくなっており巣立ちが間近と思われた。巣の位置は地上から高さは約3メートルで、軒の出は1.9メートルあり、その一番奥に巣は作られていた。ヒナは6月14日に巣立ちした。

6月12日巣より東方向に餌を採集に行く個体

と、西方向に餌を採集に行く個体を観察した。すなわちハクセキレイは2個体で給餌していた。また観察中に巣のそばの電線に、1羽のセグロセキレイ *Motacilla grandis* が止まって、盛んに鳴き続けていた。この鳴き声はぐぜりに近いような鳴き声であり、典型的な囀りとは異なっていた。また背の羽の黒色が強いことから雄と判定された(五百沢, 2000)。

6月13日から15日まで給餌の様子を観察した。但し14日と15日は巣立ちヒナへの給餌である(図2)。表1はその観察中の給餌時間である。12日に観察されたことと異なり、13日以降はハクセキレイが1羽で給餌しており、そしてセグロセキレイの雄1羽がハクセキレイのヒナに餌を与えてい



図1. ハクセキレイの巣跡。
撮影日 2007年6月24日。撮影場所 高知市介良丙。

た．13日の観察中には，ハクセキレイが巣の近くの地面におりていると，セグロセキレイは巣のある側の地面におりて，追い払おうとするかのようにしばらく対峙しているところも観察した．そしてハクセキレイはヒナに餌を与える時間がセグロセキレイと重なった時は，餌を運んで来ても与えずに飛び去った（表1）．

巣立ち後に巣を採集して，巣材や巣の大きさなどを計測した．巣材はほとんどが10種以上の植物の葉や細根で，残りは動物の毛や荷造りひもや



図2．ハクセキレイの給餌行動．
撮影日 2007年6月14日．撮影場所 高知市介良丙．

表1．2007年6月13日～15日の観察中にハクセキレイ・セグロセキレイが雛への給餌を試みた時間

	ハクセキレイ 給餌を試みた時間	セグロセキレイ 給餌を試みた時間
6月13日	観察時間 13:30～14:40	
	13:37	
	13:45 ^{*+}	13:45 ^{*+}
		13:57
	13:59 ^{**}	
		14:07
	14:07 ^{**}	
		14:10
		14:12
		14:15
	14:21 [*]	
	14:35	
6月14日	観察時間13:05～14:40	13:45
	13:50	
	14:00	
	14:13	
	14:14	
	14:30	
6月15日	観察時間14:30～15:30	
	15:17	

*：ハクセキレイが与えた餌はトンボであった．

+：13日，13:45のハクセキレイとセグロセキレイの給餌は，ハクセキレイが先に行った．

**：ハクセキレイが餌を運んできたときセグロセキレイが給餌中で，給餌を行わずに飛び去った．

シートの繊維などの化学製品であった．おおまかな形は長方形の土台の上に浅い皿がのっているようであった．この巣の大きさの詳細は以下のようであった．

高さ 70mm～80mm

長径 210mm

短径 130mm

皿部分 長径125mm

短径105mm

皿部分の深さ 最深部 25mm

平均深さ 約15mm

重量 75g

この観察例とは別に，筆者は高知市高須でも2007年6月3日に巣材を運ぶハクセキレイを目撃した．そばにある材木倉庫の屋根の桁に巣を作っていた．しかし巣の下が駐車場であった為に人の出入りがあり，この巣はすぐに放棄された．8月5日には香南市吉川町吉原で，ハクセキレイの1羽の親と3羽の巣立ち雛の親子と給餌を観察した．翌6日にも同じ場所で1羽の親と4羽の巣立ち雛の親子と給餌を観察した．このように2007年は高知市高須・介良，香南市吉川町吉原と3箇所繁殖又はその兆候が観察された．以上の観察及び今回の観察例は，高知県でハクセキレイが少数繁殖し始めたことを示唆している．これから繁殖が増えていくのか，またこれは一時的な事なのかについては，今後の観察が必要と思われる．

今回観察されたセグロセキレイについては，12日に盛んに鳴いていた個体と，13日以後に育雛に関与し，なわばり防衛を思わせる行動を示した個体は，おそらく同一の雄と考えられる．この個体と2羽のハクセキレイの関係等は不明である．異種のヒナへの給餌例は，アカモズ *Lanius cristatus* がモズ *Lanius bucephalus* のヒナに給餌した例（今西，1994）や，エナガ *Aegithalos caudatus* がシジュウカラ *Parus major* に給餌した例（松田，1977）などの報告もある．今回の例は，従来ハクセキレイの営巣がなかった地域であるために見られた過渡的な現象という可能性もあり，その他の可能性も含め今後の検討が必要である．

セグロセキレイに関する文献を提供していただいた日本野鳥の会高知支部の小林靖英氏，ハクセキレイおよびセグロセキレイの生態についての情報をいただいた山科鳥類研究所の茂田良光氏，森林総合研究所四国支所の佐藤重穂氏，本稿をまと

めるにあたり御助言をいただいた高知大学医学部の熊沢秀雄氏に心より感謝いたします。

引用文献

今西貞夫．1994．アカモズによるモズ幼鳥への給餌例．STRIX，13：224-226

五百沢日丸．2000．日本の鳥550 山野の鳥．文一総合出版，東京，359pp．

高知県．1986．高知県の鳥1986年．高知県保健環境部，300pp．

高知県．1995．データベース高知県の野鳥1986年～1993年．高知県保健環境部，444pp．

松田道生．1977．エナガによるシジュウカラの巣への給餌例．STRIX，15：144-147

大迫義人．1997．セグロセキレイ（日高敏隆，監修：日本動物大百科4 鳥類Ⅱ）p.78．平凡社，東京．

田中正晴．2005．高知平野におけるハクセキレイの繁殖事例．四国自然史科学研究，(2)：63-66．

（原稿受理 2008年12月31日）